

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年 8月31日
【発行者名】	アバディーン投信投資顧問株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石川 五生
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門一丁目2番3号虎ノ門清和ビル
【事務連絡者氏名】	渡瀬 久美子
【電話番号】	03-4578-2211
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券に係るファンドの名称】	クレディ・スイスG T A Aファンド
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券の金額】	上限 1兆円
【縦覧に供する場所】	該当なし

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成22年5月14日付で提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の記載事項の一部訂正を行うため訂正届出書を提出いたします。

## 2【訂正の内容】

原届出書の該当情報を以下のとおり訂正または更新します。

## 第二部【ファンド情報】

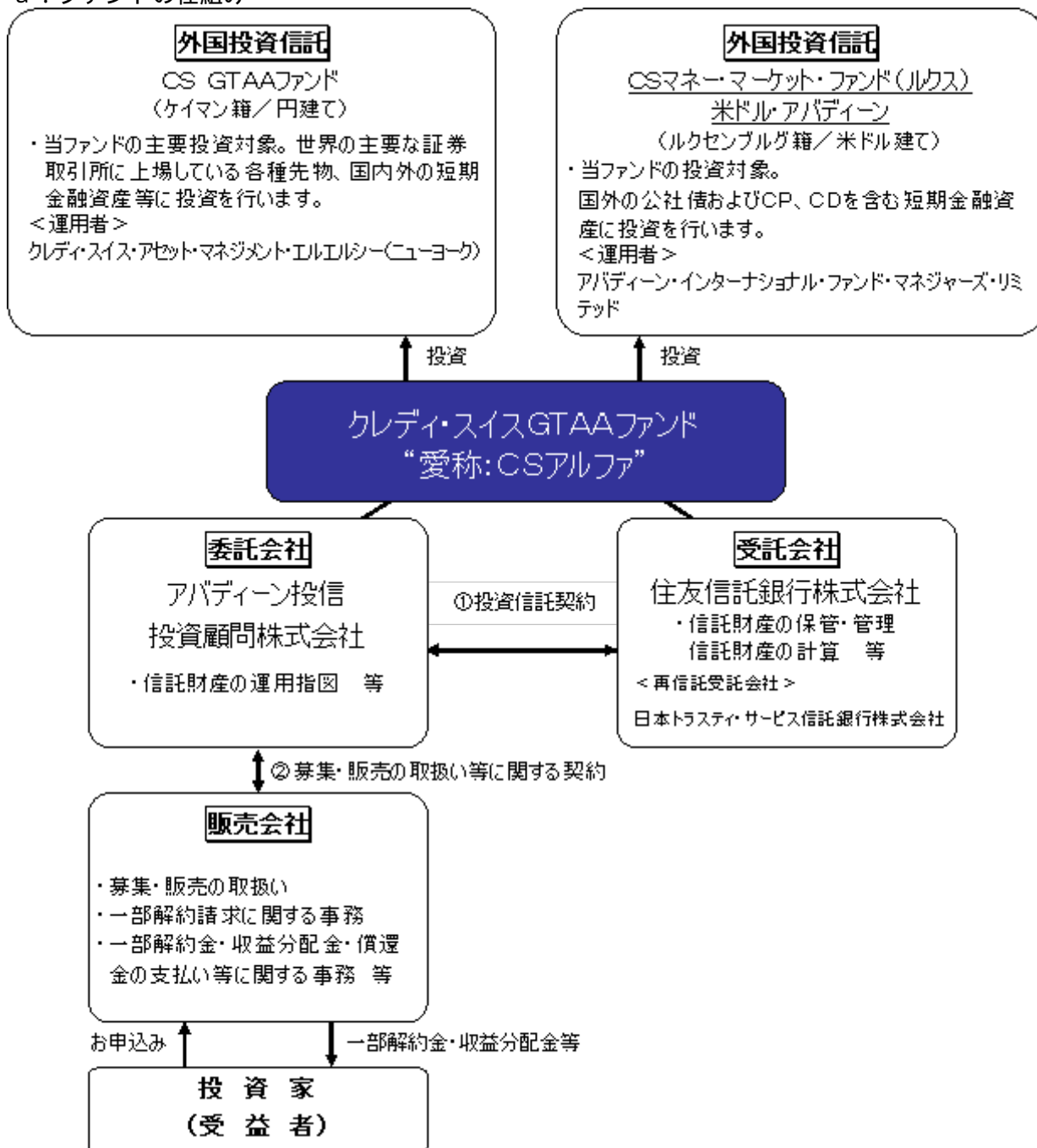
## 第1【ファンドの状況】

## 1【ファンドの性格】

## (2)【ファンドの仕組み】

<訂正前>

## a. ファンドの仕組み

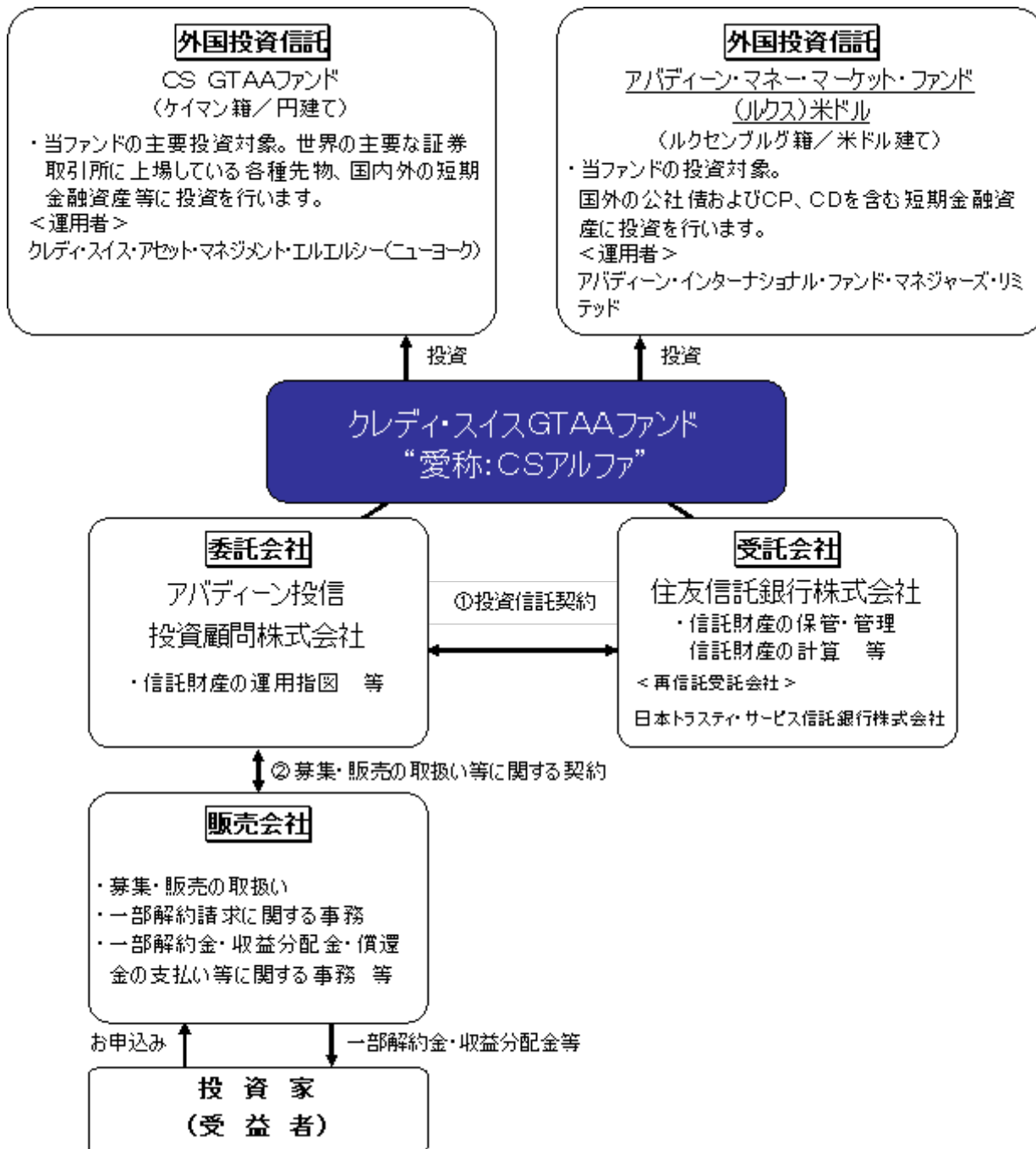


(以下、略)

b. (略)

&lt;訂正後&gt;

## a. ファンドの仕組み



(以下、略)

b. (略)

## 2【投資方針】

## (1)【投資方針】

## &lt;訂正前&gt;

a.(略)

b.投資態度

主として、次の投資信託証券に投資します。

「CSGTAAFund」:

外国投資信託「CSGTAAFund」(ケイマン籍/円建て)

(当該ファンドは、ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とします。)

「CSMMF」:

外国投資信託「CSマネー・マーケット・ファンド(ルクス)米ドル・アバディーン」(ルクセンブルグ籍/米ドル建て)

各投資信託証券の投資スタンス

「CSGTAAFund」を中心に組入れますが、資金を一時的に安全資産に投資する目的から「CSMMF」を一部組入れます。

(略)

## &lt;訂正後&gt;

a.(略)

b.投資態度

主として、次の投資信託証券に投資します。

外国投資信託「CSGTAAFund」(ケイマン籍/円建て)

(当該ファンドは、ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とします。)

外国投資信託「アバディーン・マネー・マーケット・ファンド(ルクス)米ドル」

(ルクセンブルグ籍/米ドル建て)

各投資信託証券の投資スタンス

「CSGTAAFund」を中心に組入れますが、資金を一時的に安全資産に投資する目的から「アバディーン・マネー・マーケット・ファンド(ルクス)米ドル」を一部組入れます。

(略)

## c. 運用の特色

&lt;訂正前&gt;

クレディ・スイスGTAAファンド（愛称：CSアルファ）のコンセプト  
（中略）

## クオンツモデルの特徴

- **GTAA(グローバル・タクティカル・アセット・アロケーション)※により、資産配分を行います。**  
※投資対象を広く海外に求め、株式や債券等の資産間相互における相対的な価値を判断し、魅力の高い資産への投資比率を高め(割安な資産を買い)、魅力の少ない資産への投資比率を低める(割高な資産を売る)投資手法を言います。
- **幅広いファクターに着目します。**  
資産特性に応じた幅広いファクターを採用しています。
- **ファクターのウェイトを変化させるダイナミックなモデルです。**  
各ファクターのウェイトを市場環境に応じて調整します。
- **2資産をペアにして相対比較を行います。**  
より精度の高い期待収益率予想を得るため、2資産間で相対比較を実行し幅広い分析を行います。
- **他資産との低い相関を目指します。**  
低い相関を得るため、リターンの源泉を幅広く分散させます。

&lt;訂正後&gt;

クレディ・スイスGTAAファンド（愛称：CSアルファ）のコンセプト  
（中略）

## クオンツモデルの特徴

- **ファンダメンタル分析に基づくGTAA(グローバル・タクティカル・アセット・アロケーション)\*モデルをコア戦略とし、併せて2資産のスプレッドの拡大・縮小を定量的に分析するRTA(レバレッジ・トレードイング・アービトラージ)モデルも補完的に利用します。**  
\*投資対象を広く海外に求め、株式や債券等の資産間相互における相対的な価値を判断し、魅力の高い資産への投資比率を高め(割安な資産を買い)、魅力の少ない資産への投資比率を低める(割高な資産を売る)投資手法を言います。
- **幅広いファクターに着目します。**  
資産特性に応じた幅広いファクターを採用しています。
- **ファクターのウェイトを変化させるダイナミックなモデルです。**  
各ファクターのウェイトを市場環境に応じて調整します。
- **2資産をペアにして相対比較を行います。**  
より精度の高い期待収益率予想を得るため、2資産間で相対比較を実行し幅広い分析を行います。
- **他資産との低い相関を目指します。**  
低い相関を得るため、リターンの源泉を幅広く分散させます。

## &lt; 訂正前 &gt;

**G T A Aの考え方**

(中略)

世界の金融市場において、ロングポジションまたはショートポジションを構築し、超過収益の獲得を目指します。  
定量的分析を通して、株式、債券、通貨市場で期待収益率を予測し、リスク・リターンを最適にするロングポジションまたはショートポジションを構築します。

## &lt; 訂正後 &gt;

**G T A Aの考え方**

(中略)

世界の金融市場において、ロングポジションまたはショートポジションを構築し、超過収益の獲得を目指します。  
定量的分析を通して、株式、債券、通貨市場で期待収益率を予測し、リスク・リターンを最適にするロングポジションまたはショートポジションを構築します。  
実際に投資を行う際には市場の流動性といった要因にも留意しますので、原則として効率的な売買が可能である先物市場等を通して取引を行います。

**R T Aモデルの目的および特徴**

G T A Aモデルに比べ、短期間（週次ベース）での超過収益の獲得を目的とします。市場における相対的なミスプライスを見出すことにより、超過収益の獲得を狙います。

過去52週間のヒストリカルデータをベースに株式、債券、通貨の各資産を相対比較することにより、資産間のスプレッドが拡大していくか（従来のトレンドを追随していくか）、あるいはスプレッドが収束していくか（平均回帰していくのか）について予想するため、トレンド追随要素と平均回帰要素の各々の期待値を算出し、リスク調整後の期待リターンを最大化するスプレッド・アービトラージを採用します。

G T A Aモデルとの低い相関関係を利用することにより、リスクを分散する効果を狙います。投資対象となる先物取引等が、コア戦略のG T A Aモデルに比べてより広範囲に分散されております。（新興国株式、ユーロ圏株式、短期ソブリン債等）

ロングポジションまたはショートポジションにより、リスクを中立化させることを目指します。

&lt;訂正前&gt;

「CS GTAAファンド」における投資する先物取引等（株価指数先物、債券先物、通貨先物を利用）

	株式		債券		通貨	
米国	●		■		▲	
日本	●		■		▲	基軸通貨
英国	●		■		▲	
ユーロ圏	●	*	■	**	▲	
スイス	●		□		▲	
オーストラリア	●		■		▲	
カナダ	●		■		▲	
香港	●		-		-	
スウェーデン	-		-		△	
ノルウェー	-		-		△	
ニュージーランド	-		-		▲	
エマージング・マーケット	○		-		-	

調査・分析を行なう資産	9	+	7	+	9	=	25
調査・分析及び実際の投資を行なう資産	8	+	6	+	7	=	21

●■▲が実際の投資対象となります。  
○□△は、先物市場の有無及び流動性などの観点から、調査・分析に留め、実際の投資は行ないません。

\* DAX-10ストップ指数先物  
\*\* ユーロ圏10年先物

定量的手法を用いて9つの株式市場、7つの債券市場、9つの通貨市場、合計25の市場を分析対象とします。

一方で、実際に投資を行う際には市場の流動性といった要因にも留意しますので、原則として効率的な売買が可能である先物市場等を通して取引を行います。

この観点から、実際に売買を行う資産は8つの株式市場、6つの債券市場、7つの通貨市場、合計21の市場とします。

\* 上記は本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

&lt;訂正後&gt;

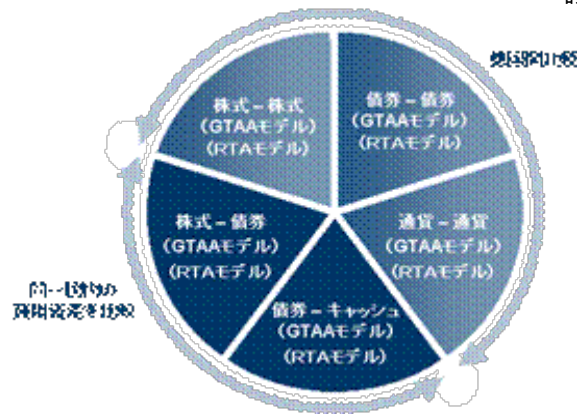
「CS GTAAファンド」における投資する先物取引等（株価指数先物、債券先物、通貨先物を利用）

	株式		債券		通貨
米国					
日本					基軸通貨
英国					
ユーロ圏					
スイス			-		
オーストラリア					
カナダ					
香港			-		-
スウェーデン			-		-
シンガポール			-		-
南アフリカ			-		-
台湾			-		-
ニュージーランド	-		-		
メキシコ	-		-		
エマージング・マーケット			-		-

投資対象とする市場は上記のとおりですが、複数の株価指数先物等を利用する市場があるため、GTAAモデル、RTAモデルを合わせて約45資産の先物取引等が投資対象となります。ただし、投資対象となる先物取引等は、将来見直される可能性があります。

&lt;原届出書の内容を以下のとおり更新します。&gt;

&lt;運用プロセス&gt;



資産ごとの5種類の組み合わせ

運用資産の上記5種類の組み合わせ（同一国内比較と他国間比較）で分析を行い、モデルを組み立てます。

ファクターの確定

市場環境の変化に適応し、5種類の組み合わせにおいて、GTAAモデルとRTAモデルでそれぞれ個別に最も有効なファクターを決定します。

投資見通しの作成

2資産をペアにして相対比較を行うことにより情報量を拡大し投資見通しに影響を与えるファクターを可能な限り広く捉えます。

期待収益率の算出

モデルの予測や市場リターンとの相関関係などを考慮に入れます。それぞれの期待収益率を算出し、ポートフォリオの最適化を図ります。

ポートフォリオの構築

リスクを調整しながら2つの戦略を組み合わせたポートフォリオを構築します。

\* 上記は本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。



## (2) 【投資対象】

(中略)

(参考) 投資対象とする外国投資信託の概要

&lt;訂正前&gt;

ファンド名	CS GTAAファンド
	(中略)
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>先物全体のレバレッジは運用資産総額の6倍を越えないこととします。</li> <li>株価指数先物に関わるレバレッジは運用資産総額の2.5倍を越えないこととします(ただし、株式先物および債券先物の総ショートポジションは、総ロングポジションを超えないこととします)。</li> <li>一つの先物のロングあるいはショートポジションの額の絶対値(ネットポジション)は、株価指数先物の場合、ファンドの運用資産総額の50%、債券先物は100%、通貨先物は75%を、それぞれ越えないこととします。</li> </ul>

(以下、略)

ファンド名	CSマネー・マーケット・ファンド(ルクス)米ドル・アバディーン
-------	---------------------------------

(以下、略)

&lt;訂正後&gt;

ファンド名	CS GTAAファンド
	(中略)
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>先物全体のレバレッジは運用資産総額の6倍を越えないこととします。</li> <li>株価指数先物に関わるレバレッジは運用資産総額の2.5倍を越えないこととします。</li> <li>一つの先物のロングあるいはショートポジションの額の絶対値(ネットポジション)は、株価指数先物の場合、ファンドの運用資産総額の50%、債券先物は100%、通貨先物は75%を、それぞれ越えないこととします。</li> </ul>

(以下、略)

ファンド名	アバディーン・マネー・マーケット・ファンド(ルクス)米ドル (旧名称: CSマネー・マーケット・ファンド(ルクス)米ドル・アバディーン(平成22年8月2日名称変更))
-------	--

(以下、略)

## 3 【投資リスク】

&lt;訂正前&gt;

基準価額の主な変動要因等

～ (略)

その他

- GTAA(グローバル・タクティカル・アセット・アロケーション)により運用を行いますが、モデルが十分に機能しない理由による価格変動リスクがあり、基準価額の下落要因となります。
- 投資する「CS GTAAファンド」においては、ショートポジションを取りうる、または、所定の限度までのレバレッジをきかせることが可能なため、市場の変動に対して不利な価格変動が発生する可能性があります。

(以下、略)

&lt;訂正後&gt;

基準価額の主な変動要因等

～ (略)

その他

- 当ファンドはクオンツモデルにより運用を行いますが、モデルが十分に機能しない理由による価格変動リスクがあり、基準価額の下落要因となります。
- 投資する「CS GTAAファンド」においては、ショートポジションを取りうる、または、所定の限度までのレバレッジをきかせることが可能なため、市場の変動に対して不利な価格変動が発生する可

能性があります。  
（以下、略）